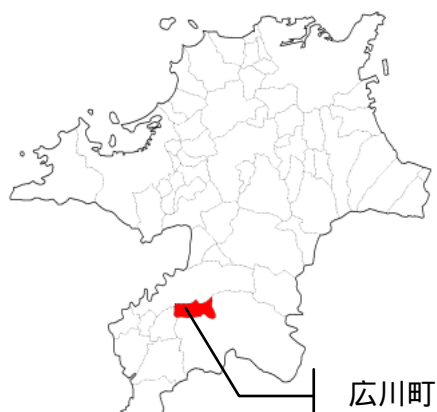


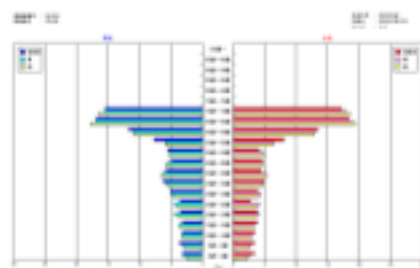
(2 5) 福岡県広川町 (ひろかわまち)

人口	19,830 人
高齢化率	25.5%
被保険者数	5,441 人
特定健康診査対象者数	3,479 人
平成 23 年度実施率	33.3%
平成 26 年度実施率	43.6%
実施率の伸び	10.3%

* 人口・高齢化率は平成 27 年 1 月 1 日現在
 * 被保険者数は平成 26 年度末。
 * 特定健康診査対象者数、実施率は平成 26 年度速報値。



被保険者年齢分布



職員配置

【健康係】
 事務員 2 名
 保健師 2 名

 【国保年金係】
 事務員 5 名

地域の特性

広川町は福岡県南部に位置し、面積は 37.91 k m²で、福岡県の 0.76% を占めています。国道 3 号が中央部を南北に走っており、また工業団地やインターチェンジもあり、町の発展可能性は高いといえます。気候は内陸型気候区に属し、1 日の気温の変化が大きいという特徴があります。人口は、平成 27 年国勢調査結果では 20,194 人となっており、平成 22 年時 20,253 人、平成 17 年時 20,248 人と、ほぼ横ばいで推移しています。ただし高齢化率は増加しており、あらゆる分野で本格的な少子高齢社会の到来を見据えたまちづくりが必要です。基幹産業は農業で、米麦・いちご・ぶどうなどのほか、近年は電照菊やガーベラなどが生産量を伸ばしています。また、久留米餅の主産地としても有名で、餅工房が点在しています。

特定健康診査実施率向上に特に効果があった取組

特に効果があった取組は、健診未受診者個人への受診勧奨、被保険者からの検査結果の提供です。

【健診未受診者個人への受診勧奨】

広川町では、毎年 4 月に特定健康診査の案内とともに受診券を同封し対象者に郵送しています(資料 1)。実施率向上のため、当該年度で、まだ特定健康診査の予約が入っていない方や健診を受けていない方を抽出し、2 人の看護師を臨時で雇い、1 年を通し電話勧奨し、不在の方に対しては直接、訪問にて案内を手渡しました。また、ランダムに行政区を決め、隣組長から直接手渡しを行いました。

訪問の結果や本人の思い(その時の反応)等を記載する「特定健診相談表」を個人毎に作成し、

特定健康診査実施率向上に特に効果があった取組

記録を残すように工夫しています（資料2）。

また、健診が始まれば、予約が無い方一人一人に受診の意向を電話で聞いています。「忘れてました」、「病院で受けます」などの対応状況を「特定健診相談表」に記載しています。

その後も受診がなければ、また連絡を行っています。さらに、電話で伝わりにくい方には訪問をしています（表1）。

（表1）平成26年度 健診未受診者の受診勧奨（5月～8月実績（抜粋）及び年間実績）

	5月	6月	7月	8月	合計
電話	774件	342件	21名	25件	2381件
訪問	44件	4件	5件	1件	133件

【被保険者からの検査結果の提供】

毎年4月に町内の医療機関6カ所をすべて訪問し、特定健康診査の集団健診の説明も含めて、被保険者から検査結果をいただくことへの理解をいただいています。未受診者の方への受診勧奨において、KDBシステムで病院の受診状況を確認し、病院への通院がある方に対して、健診システムを説明し同意した上で、血液データの情報をいただいています。検査項目を満たしていない場合は、受診券をかかりつけ病院で利用されると、役場に検査データを提出する手間が省けると被保険者に案内し、受診勧奨しています。

被保険者が病院通院のある方なのか、また処方薬が何かの確認には、KDBシステムを利用し、そこから得た情報内容によってはアプローチも変わってくるので非常に役立っています。そして、KDBシステムで病院の受診状況を確認し、健診未受診者で通院のある方に対して、将来の社会保障給付費の安定を目的に健診と保健指導を実施していると説明すると、快く情報提供に協力してくれる対象者が多いです。

また、平成25年度より保健所が中心となり、かかりつけ医、保険者、被保険者間の連絡票を作成しており、かかりつけ医の指示に基づいた保健指導ができるようになってきています（資料3）。治療中の方は、特定保健指導の対象者とはなりません。重症化予防の観点より、かかりつけ医との連携と、本人の承諾で保健指導に取り組んでいます。

特定健康診査実施率の向上に取り組んでみて

なぜ特定健診・保健指導が始まったのか。住民に社会保障費の動向などをわかりやすく説明をしながら受診勧奨をすると、理解して頂ける事が多かったように思います。「それだったら受けようかね。」「実施率が影響するならいかんね～」といったコメントがよく聞かれました。社会保障費の動向や、国の考え方などは、国保連合会のKDB研修会などでもいやと言うほど説明をしてもらいましたので、しっかり軸がぶれないように頭の中に刷り込まれた気がします。

今後は受けっぱなしとならないよう、また保健指導が滞ることがないように地元の医師とも連絡を取り合いながら、進めなければならないと思っています。生活習慣病にかかる医療費がきちんと下がって、健康格差が無くなることと、健康寿命が長くなることが私たちの目標としていることと思うので、ここに結果が出てこなければならないと思っています。

困難だった点としては、平成20年からの保健指導の記録が明確でなかったり、バラバラになっていたりで、その人に対してどのようなアプローチをかけてきたのかの経緯が不明だったことが一番受診勧奨するのに困りました。一から受診に対する思いを聞きだし記録に残していく作業が大変でしたが、以後2度3度連絡する際には、その人へのアプローチのやり方がわかってくるので後々は楽になってきました。

一人ひとり話をすると健診の仕組みをわかっていなかったという住民が多くいらっしゃいました。案内通知を送るだけではわからない事が多いということがわかりました。また、病院にかかっているなら健診は不要と思っていた人たちも多く、未受診者にはそれぞれ違った理由があることがわかりました。

特定健康診査実施率の向上に取り組んでみて

連絡先がわからない住民は日中仕事に出ている比較的若い年齢層で、訪問しても会えず、連絡してほしい旨の連絡票を置いてきても、音信不通の方が多いことがわかり、今後の受診勧奨の課題です。

また、受診勧奨がまだ役場側からのアプローチだけで進んでいることは、いつか疲弊するのではないかと考えています。地区の代表者、農協や商工会などと協力しながら啓発活動ができれば、もっと全体的な健康意識の底上げもできるのではないかと考えていますが、残念なことに、そういった組織づくりは確立できておらず、かなり遅れていると思います。

受診勧奨をする看護師 2 名は週 3 回 4 時間の勤務です。もし、この 2 人の勧奨が実施率向上に影響があったのであれば、担当以外の役場職員も健診のことを念頭に置き、窓口や地域の中での日ごろからの住民への声掛けに「健診受けていますか？」一言添えていくと、さらに影響があるのではないかと考えました。

また、福岡県国民健康保険団体連合会の支援においては、KDB システムの操作研修やデータヘルス計画の中の資料の提供等をいただき、自分の町の状況や課題がとても把握しやすかったです。

保健事業の委託状況（特定健康診査以外の委託の有無）

あり	
なし	

(表)

郵便はがき

8	3	4	0	1	9	0
---	---	---	---	---	---	---

八女郵便局 承認 2156
 平成28年 10月31日まで 切手不要

広川町大字新代1804-1
 広川町役場
 住民課 健康係 宛
 平成28年度 健診申込みはがき



性別		男女
受診者		
住所	広川町大字	
生年月日	昭和	年 月 日
電話	自宅	
	携帯	
希望の健診	① 集団 ② 病院 (受診券利用)	
	③ 血液検査の持込み ④ 受けない	

↑希望するものに○を。裏面のご記入も。

(裏)

①集団健診で受診する項目に○を付けて下さい。

特定健診	心電図	眼底	腹部エコー
肺機能検査	肺がん	大腸がん	胃がん
肝炎	前立腺がん	子宮がん	乳がん

※希望する健診日と受付時間帯をご記入下さい。

第1希望	月	日	第2希望	月	日
8時～8時半			8時～8時半		
8時半～9時			8時半～9時		
9時～9時半			9時～9時半		
9時半～10時			9時半～10時		
10時～10時半			10時～10時半		
10時半～11時			10時半～11時		
何時でもいい			何時でもいい		

②病院で健診される方 (月頃受診予定)

6/1から12/26まで病院等で受診ができます。同時している水色の受診券と質問票・保険証を忘れずに。がん検診については、乳がん・子宮がん以外は病院では受診できません。

③血液検査の持込みをされる方 (月頃提出)

6/1から12/26までの、かかりつけ医にて採血されたデータを健康係にご提出下さい。その際、必要な項目は【身長・体重・血圧・GOT・GPT・γ-GTP・中性脂肪・HDL-C・LDL-C・空腹時血糖・血圧・脂質・喫煙習慣】となっています。

④受けない方へ。理由をお聞かせください。

怖い	魅力がない	時間がない	必要がない
その他	()		

提出期限 4月28日(木) 必ずご提出下さい。

(表)

郵便はがき

8	3	4	0	1	9	0
---	---	---	---	---	---	---

八女郵便局 承認 2156
 平成28年 10月31日まで 切手不要

広川町大字新代1804-1
 広川町役場
 住民課 健康係 宛
 平成28年度 健診申込みはがき



性別		男女
受診者		
住所	広川町大字	
生年月日	昭和	年 月 日
電話	自宅	
	携帯	
希望の健診	① 集団 ② 病院	

↑希望するものに○を。裏面のご記入も。

(裏)

①集団健診で受診する項目に○を付けて下さい。

特定健診				
肺がん	大腸がん	胃がん	肝炎	
前立腺がん	子宮がん	乳がん		

※希望する健診日と受付時間帯をご記入下さい。

第1希望	月	日	第2希望	月	日
8時～8時半			8時～8時半		
8時半～9時			8時半～9時		
9時～9時半			9時～9時半		
9時半～10時			9時半～10時		
10時～10時半			10時～10時半		
10時半～11時			10時半～11時		
何時でもいい			何時でもいい		

②病院で健診される方 (月頃受診予定)

※75歳のお誕生日前に受診される方には町から受診券をお送りします。希望の受診月をご記入ください。75歳以降は期高齢者医療広域連合から送られてくる受診票と保険証が必要となり、生活習慣病のお薬を飲んでいる人は受診できません。がん検診については、乳がん・子宮がん以外は病院では受診できません。

提出期限 4月28日(木) 必ずご提出下さい。

No. _____ 行政区 _____

ふりがな _____

お名前 _____

昭和 _____ 年 _____ 月 _____ 日生

特定健診相談表



No.	氏名	生年月日												
年月														
年齢														
検査場所														
健診結果														
診断名														
薬														
本人の生活と願い														

平成 年度 特定保健指導記録表

宛名番号	被保番号 103-		受診券番号	
フリガナ	住所(行政区)			【階層化】
氏名				積極 勤機 重症化 情報 対象外
生年月日	S 年 月 日 歳	電話	【要治療基準値】 血圧180/110 LDL180 HbA1c7.4 TG400 eGFR45 尿蛋白2+ 尿酸9 心房細動	
健診日	/	受診タイプ	集団 個別 () 持込 ()	
身長	cm	体重	kg	BMI
血圧	/	尿検査	糖	蛋白
その他				メタボ判定 該当・予備群 非該当 微ALP 塩分 g 潜在喫煙 はい/いいえ 脳ドック /

利用券番号		
利用券発行済	<input type="checkbox"/>	活動記録
面接日	/	<input type="checkbox"/>
支援形態	個別	
面接実施時間	20分	
面接実施者	() 保健師・管理栄養士 その他	
目標腹囲	cm	
目標体重	kg	
目標血圧	/	
1日に減らすエネルギー/日	cal	
運動で	cal	
食事で	cal	
ポイント	A 80	

中間	<input type="checkbox"/>	活動記録
	/	<input type="checkbox"/>
	個別	
	10分	
	() 保健師・管理栄養士 その他	
	cm	
	kg	
	/	
食生活習慣	変化なし・改善・悪化	
運動習慣	変化なし・改善・悪化	
喫煙習慣	禁煙継続・非継続 非喫煙・禁煙の意思なし	
	B 20	

最終	<input type="checkbox"/>	活動記録
	/	<input type="checkbox"/>
	個別	
	20分	
	() 保健師・管理栄養士 その他	
	cm	
	kg	
	/	
	変化なし・改善・悪化	
	変化なし・改善・悪化	
	禁煙継続・非継続 非喫煙・禁煙の意思なし	
	A80	

A:160 B:20 合計180 (A180で、Bなくても可)

保健指導完了日	/	システム入力日	/
---------	---	---------	---

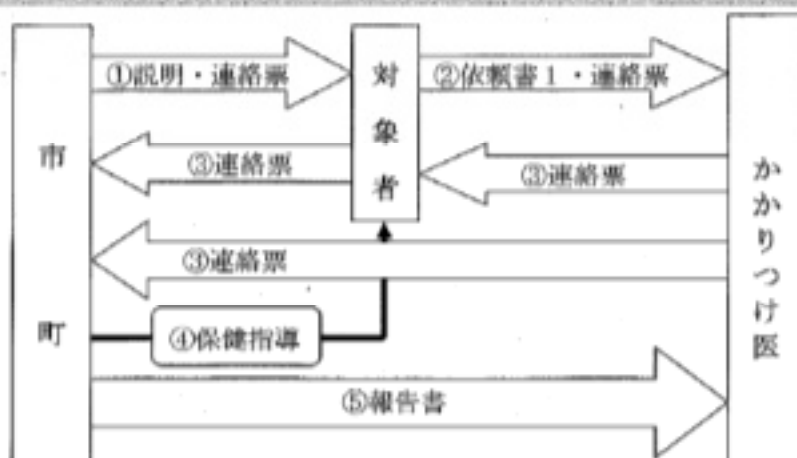
ゼンリン地図

指導日 指導者	使用 教材	語りかけ	反 応	こちらの思い



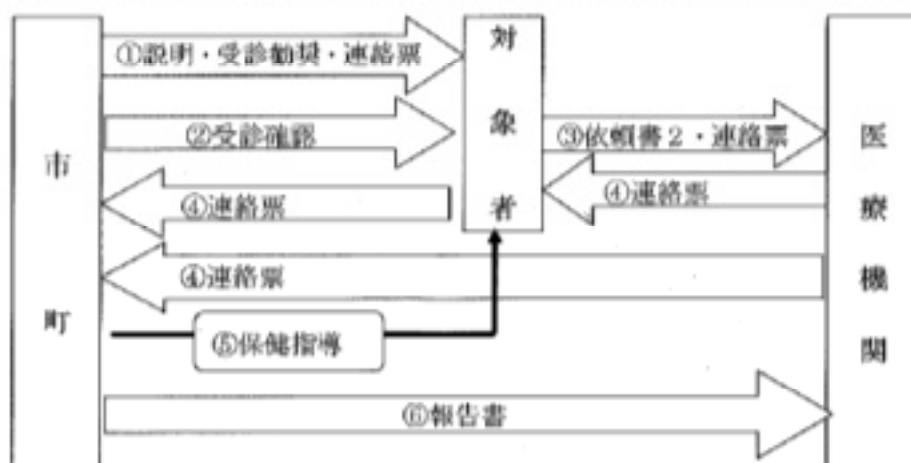
生活習慣病重症化予防事業医療機関との連携手順

1 治療中の方(保健指導に関する指示・助言)



- ① 市町から対象者に健診結果の説明と生活習慣改善の必要性を説明し、かかりつけ医に連絡票(様式1)を記入してもらうように説明する。
- ② 対象者は主治医に連絡票を渡す。
- ③ 主治医は連絡票を記入後、本人に当日手渡すか、直接市町に郵送する。
- ④ 市町は連絡票を受理したら、保健指導を実施する。
- ⑤ 市町は、保健指導の状況を主治医に報告書(様式2)にて報告する。

2 未治療の方(受診勧奨及び保健指導に関する指示・助言)



- ① 市町から未治療者に健診結果を説明し、受診勧奨をする。受診意向を確認して、医療機関に連絡票(様式1)を記入してもらうように説明する。
- ② 市町は、後日受診したかを確認する。
- ③ 対象者は、受診した際に医療機関に連絡票を渡す。
- ④ 医療機関は、保健指導が必要と判断した場合には、連絡票を本人に手渡すか、直接市町に郵送する。
- ⑤ 市町は連絡票を受理したら、保健指導を実施する。
- ⑥ 市町は、保健指導の状況を紹介医に報告書(様式2)にて報告する。

(公印省略)

平成 年 月 日

殿

福岡県南筑後保健福祉環境事務所長
広川町長 波 邊 元 喜

生活習慣病重症化予防事業における医師連絡票について（協力依頼）

時下ますます御清栄のこととお慶び申し上げます。

南筑後管内の保健行政の推進につきましては、平素よりご協力いただき、厚く御礼申し上げます。

さて、当所と管内市町では、特定健診受診後、特定保健指導対象者に加え、治療中の方や非肥満者など、特定保健指導の対象にならない場合においても、生活習慣病重症化予防の観点から、医療機関と連携した保健指導を実施することとしましたので、ご協力をお願いいたします。

つきましては、患者様が持参した「生活習慣病重症化予防事業連絡票」を記入していただき、患者様に渡していただくか、返信用封筒で市町あて返信いただきますようお願いいたします。

問い合わせ先

広川町役場 住民課 健康係

特定保健指導担当

TEL: 0943-32-1112

FAX: 0943-32-5164

(公印省略)

平成 年 月 日

殿

福岡県南筑後保健福祉環境事務所長
広川町長 渡邊 元喜

生活習慣病重症化予防事業における医師連絡票について（協力依頼）

時下ますます御清栄のこととお慶び申し上げます。

南筑後管内の保健行政の推進につきましては、平素よりご協力いただき、厚く御礼申し上げます。

さて、当所と管内市町では、生活習慣病重症化予防の観点から、特定健康診査を受診された中で、医療機関への受診が必要な未受診者に対して、受診勧奨をすることとしましたので、ご協力をよろしくお願いいたします。

なお、保健指導が必要な場合には、患者様が持参した「生活習慣病重症化予防事業連絡票」に記入の上、返信用封筒で市町あて返信いただきますようお願いいたします。

問い合わせ先

広川町役場 住民課 健康係

特定保健指導担当

TEL: 0943-32-1112

FAX: 0943-32-5164

No.

生活習慣病重症化予防事業 連絡票

様式1

氏名	(フリガナ)	性別	男・女	生年月日	昭和 年 月 日 (歳)
住所	活動記録 入力 <input type="checkbox"/>				
既往歴	<input type="checkbox"/> 脳梗塞 <input type="checkbox"/> 心筋梗塞 <input type="checkbox"/> 悪性腫瘍 <input type="checkbox"/> その他()				
家族歴					
身体所見	・身長: cm ・腹囲: cm ・体重: kg (BMI) (標準体重: kg) (20歳代の体重 kg、最高体重 kg)				
検査所見	血圧(/ mmHg) 尿蛋白() 尿潜血() 尿糖() AST (IU/l) ALT (IU/l) γ -GTP(IU/l) 中性脂肪(ng/dl) HDL-C(ng/dl) LDL-C (ng/dl) 尿酸 (ng/dl) 血糖 (ng/dl) HbA _{1c} (%) 検査日 年 月 日 血清クレアチニン(ng/dl) eGFR(ml/min/1.73m ²) 微量アルブミン (ng/gCr				
特記事項					
診断名	高血圧 糖尿病 脂質異常症 その他()				
服薬 <input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	【処方内容】 ()				
保健指導に関する指示・助言	食事	・エネルギー 1200Kcal・1400Kcal・1600Kcal・1800Kcal ()Kcal ・たんぱく制限 <input type="checkbox"/> 有 (g/日) <input type="checkbox"/> 無 ・塩分制限 <input type="checkbox"/> 有 (g/日) <input type="checkbox"/> 無			
	運動	<input type="checkbox"/> 運動不可 <input type="checkbox"/> 運動可(<input type="checkbox"/> 軽度 <input type="checkbox"/> 中等度 <input type="checkbox"/> 強度) <input type="checkbox"/> 現状維持			
	飲酒	<input type="checkbox"/> 禁酒 <input type="checkbox"/> 飲酒可(()合以内、休肝日()日)			
	たばこ	<input type="checkbox"/> 禁煙 <input type="checkbox"/> 特になし ()			
	(保健指導で注意事項があれば記入ください)				
今後の受診	<input type="checkbox"/> 継続受診 <input type="checkbox"/> 治療終了 <input type="checkbox"/> 専門医紹介 <input type="checkbox"/> 経過観察 (<input type="checkbox"/> 1か月後受診 <input type="checkbox"/> 3か月後受診 <input type="checkbox"/> 6か月後受診)				
平成 年 月 日	医療機関名: 医師氏名 :				

保健指導に関する指示・助言

* 食事に関する指示

* 「糖尿病治療ガイド2012-2013」参照

1. エネルギーの算出

1日のエネルギー量 = 標準体重(身長m) × (身長m) × 22 × 身体活動量

- * 軽労作(デスクワークが多い職業など) 25~30kcal/kg標準体重
- * 普通の労作(立ち仕事が多い職業など) 30~35kcal/kg標準体重
- * 重い労作(力仕事が多い職業など) 35~ kcal/kg標準体重
- * 肥満者の場合には 25~30kcal/kg標準体重

2. たんぱく質の算出

- * 早期腎症期 1. 0~1. 2g/kg体重/日
- * 顕性腎症期 0. 8~1. 0g/kg体重/日
- * 腎不全期 0. 6~0. 8g/kg体重/日

3. 塩分の算出

* 塩分制限がある場合は6g以下とする。

* 運動に関する指示

* 運動可の場合は下表を参考に運動の種類を決める。

	メッツ	運動の種類
軽度	3以下	ストレッチ、バランス運動、ヨガ、座って行うラジオ体操
中等度	3~6	ウォーキング、軽い筋カトレーニング、ダンス、太極拳 ラジオ体操、ダンス、水中歩行、水泳(ゆっくりとした平泳ぎ、背泳) 自転車エルゴメーター(30~50ワット)、
強度	6以上	ジョギング、山登り、エアロビクス、サイクリング、水泳(クロール) 自転車エルゴメーター(90~100ワット)

* 「健康づくりのための身体活動基準2013」参照

* 飲酒に関する指示

特に指示がない場合は、アルコールの摂取は「適量(1日25g程度まで)、週1~2日休肝日を設ける」に留め、肝疾患や合併症など問題のある場合は禁酒とする。

* たばこに関する指示

特に指示がない場合は、禁煙とする。

主治医 先生

様式2

～保健指導状況報告書～

このたびは、保健指導に関するご意見をいただき、ありがとうございました。
ご意見に基づき、下記のとおり保健指導を実施しましたので、ご報告します

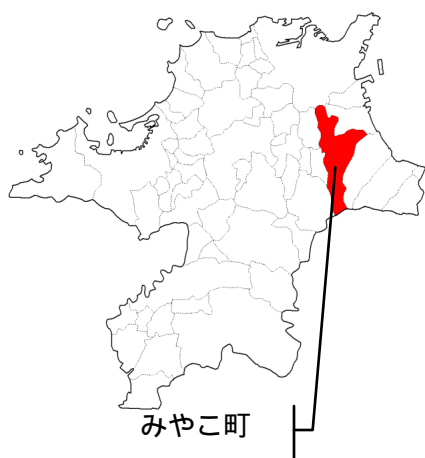
氏名	様	性別	男・女	生年月日	昭和 年 月 日 (歳)
住所	電話(094) -				
主治医からの 保健指導に関 する指示・助言	【平成 年 月 日付 主治医意見書より】				
目標					
目標を達成する ための行動目標 と行動プラン					
目標に向けての 本人の食事・生 活の仕方等					
今後の スケジュール					
平成 年 月 日					
市町名	TEL	担当			

※ 上記内容について、ご指示・ご助言等ございましたら、担当まで、ご教示いただきますよう
よろしくお願いいたします。

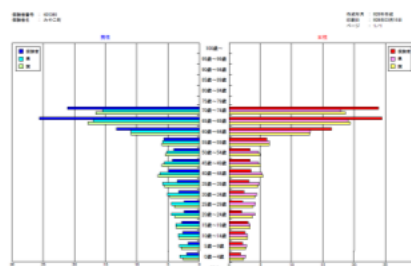
(2 6) 福岡県みやこ町 (みやこまち)

人口	21,012 人
高齢化率	34.4%
被保険者数	5,646 人
特定健康診査対象者数	4,175 人
平成 23 年度実施率	33.4%
平成 26 年度実施率	44.3%
実施率の伸び	10.9%

* 人口・高齢化率は平成 27 年 1 月 1 日現在
 * 被保険者数は平成 26 年度末。
 * 特定健康診査対象者数、実施率は平成 26 年度速報値。



被保険者年齢分布



職員配置

【健康増進係・医療保険係】

特定健診担当スタッフ
 保健師 4 名
 管理栄養士 2 名 (嘱託)
 事務 2 名

平成 23 年度より国保担当課と同じ課となり、連携可能となっています。

地域の特性

福岡県の北東部に位置し、北は北九州市、南は大分県に接し、南北に細長く南高北低の地形となっています。そのため気温差は激しく、山間部では町の中心部と比較して 4~5 の差がありますが、気候は比較的温暖で、地震や積雪などの自然災害の少ない地域となっています。

また、公共交通機関が少なく、自家用車で健診に来所される方が多く、高齢化率は 35.0%(H27.4.1 現在)と福岡県内で 5 番目に高くなっています。

特定健康診査実施率向上に特に効果があった取組

特に効果があった取組は、特定健康診査受診料の自己負担の軽減、個別健診の実施期間の延長、集団健診時の工夫、健診未受診者個人への受診勧奨、ターゲットを絞った受診勧奨を実施したことです。

【特定健康診査受診料の自己負担の軽減】

平成 26 年度より、健診自己負担額を 800 円から 500 円にして「ワンコイン」をアピールした結果、実施率が 4.8%上昇しています (表 1)。また、ポスターにも 500 円玉の絵を載せアピールをしました (資料 1 : ポスター)。

(表 1) 集団健診受診者数の実績

	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
集団健診受診者数	914 名	1,014 名	1,061 名	1,167 名

特定健康診査実施率向上に特に効果があった取組

【個別健診の実施期間の延長】

平成 26 年度は、個別健診の実施期間を 1 ヶ月延長し 5 ヶ月間とし、平成 26 年度の個別健診受診者は 890 名と前年度より 144 名の増加となっています（表 2）。

（表 2）平成 26 年度 個別健診受診者数の実績

	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月
個別健診受診者数	145 名	108 名	190 名	282 名	165 名

【集団健診時の工夫】

40 歳以上の集団健診を受診される方の健診項目に、心電図及び眼底検査を自己負担無料で追加しました。また、待ち時間を少なくするために集団健診時の各自受付時間を設定し、受診者への配慮を行いました。（資料 2：集団健診予約票）

【健診未受診者個人への受診勧奨、ターゲットを絞った受診勧奨】

過去 2 年間健診未受診者や医療機関受診の有無などターゲットを絞って訪問等での受診勧奨を実施しました。

また、詳細健診対象者（前年度の結果において、腹囲（男性 58cm、女性 90cm 以上 or BMI25 以上、脂質：TG150 以上 or HDL40 未満、血糖：100 以上 or HbA1c5.6 以上、血圧：130/85 以上の方、毎年 80 名前後）への電話勧奨も行いました。

年代別実施率をみると、60 歳～74 歳までが 40%の実施率に対して、40 歳～50 歳代の実施率が低くなっています。平成 23 年度を分析してみたところ、60 歳代は退職後に国保加入した方がほとんどであるため、実施率の向上が図れると考えました。

そこで、平成 24 年度は、60 歳代を主対象にして看護師が訪問勧奨し、50 歳代で健診未受診者と過去 2 年間の健診未受診の方に電話勧奨を行いました。

平成 25 年度は、特定健診等実施計画（第 2 次）を作成したことにより、40 歳代の男性の有所見者割合が 50～70 歳代と同等あるいはそれ以上で、結果がすでに悪くなっており、特に新規受診の方の結果が悪い事が明確化された為、若年（30 歳代）からの健診を開始しました。

また、30 歳代全員と 40 歳～60 歳代で前年度未受診者に対して、訪問勧奨を実施しました。

平成 26 年度は、福岡県国民健康保険団体連合会の KDB システムを活用して対象者の抽出協力をしてもらうことができ、30 歳～74 歳で前年度健診未受診者及び医療機関の受診なしの方を優先して訪問勧奨を行いました。（表 3）

（表 3）年度ごとの未受診者対象者数と受診勧奨の実績

	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
受診勧奨数/未受診者対象者数 （未受診対象者数に占める受診勧奨割合）	60 歳代 1295/2315 名 （55.9%）	30 歳代 325/432 名 （75.2%）	30 歳～74 歳 2879/3025 名 （95.2%）
	50 歳代 218/653 名 （33.4%）	40～60 歳代 1392/2905 名 （47.9%）	

受診勧奨の方法としては、臨時看護師 4 名（2 人 1 組）にて個別訪問し、不在者にはチラシの投函及び電話勧奨を実施。また、スーパーや地区巡回・自主グループなど住民が集まる場所、物産所など人が多く集まる場所やイベント時には課内総出で分担しながら、地域を回りました。

時には田んぼの中で作業中のかたにも声をかけるなど地道に受診勧奨を行いました。

特定健康診査実施率の向上に取り組んでみて

KDB システムが町で本格的に稼働する以前から、福岡県国民健康保険団体連合会の支援により、未受診者対策として、対象者の抽出協力をしていただいたことにより、ターゲットを絞った受診勧奨ができました。

平成 23、24 年度は糖尿病予防モデル事業にも参加し、二次健診（糖負荷試験や頸動脈エコー検査）の実施、結果の読み取り方など保健指導充実に対する力量形成への支援もしていただきました。このことより、保健指導の充実が健診受診のリピーター率の向上につながったのではないかと考えます。

体制面（ストラクチャー）では、平成 23 年度から、国保担当部門と保健部門が同じ課になり、対象者の把握等連携がとりやすくなったことも実施率向上の要因といえます。

特定健診等実施計画（第 2 次）に基づき、未受診者対策として、計画的にターゲットを絞り、ローラー作戦として、看護師等で未受診者へ個別訪問したことが実施率アップの一番の要因となったと思います。

未受診者訪問や電話など行う中で、一度拒否されても次年度も再度訪問するなど、根気よく勧奨を継続して行ってきたことで、住民自身が健診の重要性を理解し、行動変容につながったのではないかと考えます。

保健事業の委託状況（特定健康診査以外の委託の有無）

あり	
なし	

特定健診

平成26年度
みやこ町

がん検診

注目
1

ワンコイン健診スタート!

特定健診8,000円相当が
ワンコイン(500円)で
受診できます!



注目
2

検査項目に 心電図・眼底検査を追加!

集団健診で「特定健診」を申込み
されると、40歳以上のかたは
心電図検査・眼底検査が受けられます!

年に一度、健康診断を受けましょう!!

集団健診

『特定健診』と『がん検診』が同時に受けられます!

会場	日程	申し込み期間
すどりの里(豊津)	7月11日(金)~14日(月)	5月1日(木)~ 31日(土) 電話でのお申込み 平日 8:30~17:00 ハガキでのお申込み 5月31日 消印有効
伊良原コミュニティセンター	7月17日(木)	
保健相談センター(岡川)	7月18日(金)~20日(日)	
ゆいの郷(勝山)	7月22日(火)~24日(木)	

特定健診 検査項目

問診・尿検査・身体計測(腹囲含む)・血圧測定・診察
血液検査(貧血検査・血糖・HbA1c・肝機能・脂質・腎機能・尿酸・鉄血等)
心電図検査・眼底検査

がん検診 検査項目

胃がん・肺がん・大腸がん・前立腺がん・子宮がん・乳がん

特定健診・がん検診
の詳細は
広報5月号の折込を
ご覧下さい!



個別に特定健診を受診されるかたは...

集団健診をお申込みでない40歳以上の国民健康保険に加入しているかたは、
6月に『特定健康診査受診券』をお送りします。
個人で指定医療機関に予約し、受診することができます。

申込み先：みやこ町役場 健康づくり課 0930-32-2725

〒824-0122 <div style="text-align: center;">様</div> <div style="text-align: right;">特定健診+がん検診</div>	<連絡先> みやこ町勝山上田960番地 みやこ町役場 健康づくり課 TEL 0930-32-2725
---	--

平成26年度 特定健診・がん検診予約票

☆☆ この予約票は健診日に必ず持参してください ☆☆

健診日：**平成26年07月12日(土)**

健診会場：**すどりの里**

受付時間：**9:00~9:45**

自己負担金：**800円**

健診内容（検診項目には○がついています）

検診内容	実施項目	自己負担額	受診確認欄	備考
特定検診(生保のかたは基本検診)	□	500		
30代検診				
胃がん検診				
肺がん検診	□	100		
大腸がん検診	□	200		
前立腺がん検診				
乳がん検診(視触診のみ)				
乳がん検診(マンモグラフィあり)				
子宮頸がん検診				
B型・C型肝炎検査				

裏面に当日ご持参いただく物を記載していますので、
ご確認ください。

健診当日は必ず持参してください

- 「平成 26 年度 特定健診・がん検診予約票」 ※このピンクの用紙
- 同封の各種問診票 （必要事項をすべて記入しておいてください）
- 料金** おもて面に合計金額を記載しています。
 - ※「がん検診無料クーポン」をお持ちのかたは、お忘れなくお持ちください。
 - ※ 生活保護を受給しているかたは「診察依頼書」を当日受付で提示すると、無料になります。
- 特定健診をお申し込みのかた
 - ・ 特定健康診査受診券（黄色）
 - ※ 30代のかたや生活保護受給者には送付していません。
 - ・ 国民健康保険被保険者証（ピンク色）
- 大腸がん検診をお申し込みのかた
 - ・ 便を採取した容器（申込者には検便キットを同封しています）

(27) 長崎県川棚町(かわたなちょう)

人口	14,542 人
高齢化率	28.7%
被保険者数	3,828 人
特定健康診査対象者数	2,651 人
平成 23 年度実施率	28.7%
平成 26 年度実施率	42.4%
実施率の伸び	13.7%

* 人口・高齢化率は平成 27 年 1 月 1 日現在
 * 被保険者数は平成 26 年度末。
 * 特定健康診査対象者数、実施率は平成 26 年度速報値。



被保険者の年齢分布	職員配置 (H28.4.1 現在)
	【健康推進課】16 名 課長 1 名 健康増進班 事務職 1 名 保健師 5 名 栄養師 1 名 介護保険係 事務職 3 名 保健師 1 名 国保年金係 事務職 4 名

地域の特性

長崎県のほぼ中央に位置し大村湾に面した風光明媚な町です。恵まれた自然環境、育まれてきた歴史と文化、農林水産業、製造業、商業、サービス業などの各種産業、多様な交通アクセス等、自然と文化と都市機能がほどよく融合している住みやすい町です。

特定健康診査実施率向上に特に効果があった取組

特に効果があった取組は、住民組織に働きかけ受診勧奨をしてもらうことと、健診未受診者個人への受診勧奨です。

【住民組織に働きかけ受診勧奨をしてもらうこと】

平成 20 年度より受診勧奨を行っていたが、実施率が区域内で一番低かったため、平成 24 年度から、以前より保健事業において関係性が深い母子愛育班(平成 27 年 238 名)、食生活改善推進協議会(平成 27 年度 158 名)に協力していただき、集団健診期間 1 週間前から、各地区にのぼり旗の掲示、チラシによる受診勧奨の呼びかけ訪問を依頼しています(資料 1)。

【健診未受診者個人への受診勧奨】

平成 24 年度から対象者を抽出して、保健師、在宅保健師等による個別訪問を実施しています。集団健診については、第 1 期から第 3 期まで設定しており、第 1 期の対象は、国保加入者(後期

特定健康診査実施率向上に特に効果があった取組

高齢者含む)のみ、第2期～3期は、社保加入者の受診も可能になっています。第1期終了後、特定健康診査等の希望調査票の未提出の方やがん検診の受診がない方、平成20年度から平成25年度に一度も受診されたことがない方、40歳～70歳までの節目年齢の方など抽出し、平成26年度は、一般衛生部門の成人担当の保健師2名、臨時保健師1名、臨時管理栄養士1名が4月末から5月末まで280世帯を個別に訪問し、受診勧奨を行いました。

平成26年度は、がん検診の集団健診を追加実施することとしたため、実施前に前年度受診者で今年度未受診者に対して、国保担当による電話での受診勧奨を行いました。

特定健康診査実施率の向上に取り組んでみて

受診勧奨を行う際に、未受診者へ健診の必要性を理解してもらうことや、かかりつけ医との関係から、個別健診の委託契約を締結する医療機関の範囲もさらに広めていくことが必要と感じられました。また、健診担当と国保担当だけでなく、介護保険担当も含めた課全体での取組の必要性も感じられました。

保健事業の委託状況（特定健康診査以外の委託の有無）

あり	各種がん検診等の委託（脳ドック、胃がん、大腸がん、子宮がん）
なし	



特定健診の個別健診のご案内



※ 40歳以上の国民健康保険加入者・後期高齢者医療保険加入者は、下記医療機関で個別受診することもできます。

町内

岡部内科医院	電話 82-5005
カナザワ内科クリニック	電話 83-3727
田淵医院	電話 82-2111
玉川医院	電話 82-4126
長崎川棚医療センター	電話 82-3121
まつお産婦人科	電話 82-2038
本川医院	電話 82-2010

※ただし、後期高齢者医療保険加入者は長崎川棚医療センターを除く

町外

【東彼杵郡内】

岩永医院、松村内科・消化器科、山住医院、山川医院

いちのせ内科循環器科、松尾医院、坂口医院、こうの内科医院

小鳥居内科・脳神経内科クリニック、中村内科医院

西の原野中医院、波佐見病院、はすわ診療所、中尾野中医院

八並整形外科医院

【東彼杵郡外】あかがき内科循環器科、くりや内科医院

《問い合わせ先》 川棚町役場 健康推進課

特定健康診査に関すること：

国保年金係 TEL 82-3132

各種がん検診に関すること：

健康増進班 TEL 82-5412

川棚町食生活改善推進協議会の健診呼びかけ標語

～健診は わが身を守る 健康チェック～

(2 8) 熊本県津奈木町 (つなぎまち)

人口	5,008 人
高齢化率	36.3%
被保険者数	1,463 人
特定健康診査対象者数	1,106 人
平成 23 年度実施率	26.4%
平成 26 年度実施率	36.9%
実施率の伸び	10.5%

* 人口・高齢化率は平成 27 年 1 月 1 日現在
 * 被保険者数は平成 26 年度末。
 * 特定健康診査対象者数、実施率は平成 26 年度速報値。



被保険者年齢分布	職員配置
	【住民課】 保険班 7 名 事務 1 名 保健師 1 名 栄養士 1 名 (嘱託) 福祉班 8 名 保健師 2 名

地域の特性

津奈木町は、熊本県南部の水俣市と芦北町の間位置し、西は不知火海に面し天草群島と対峙しています。総面積は 33.97 k m² で約 7 割が山林地帯となっています。総人口は、平成 26 年 10 月現在で 5,023 人、世帯数は 2,005 世帯です。人口については、微減状態が続いています。また、年齢別人口構成では、65 歳以上の高齢者の割合が 36.2% (平成 26 年 10 月現在) と増加を続けており、熊本県の割合 (25.7 % ; 平成 22 年 10 月現在) を大きく上回るなど、一層の少子・高齢化の進行を示しています。

津奈木町では、第 1 次産業で働く人 (20.5%) が多く、国保の加入率も同規模、国、県に比較すると高いのが特徴です。

町の死亡状況では、死因をみるとがんを除き心臓病 (42.6%) が多く同規模、国、県に比較して高くなっています。

脳疾患は罹患後、引き続き介護保険のサービスを受けている状況があります。介護保険の有病状況をみるとがんを除き糖尿病、高血圧症、脂質異常症、心臓病、脳疾患、筋・骨格、精神のすべての割合が、同規模、国に比較して高く、生活習慣病予防が介護予防に繋がることがわかります。

医療の概況では、外来患者数と入院患者数ともに同規模、国、県に比較して高く、高い頻度で医療機関を受診しているにもかかわらず、死亡、重症化に繋がっていると推測されます。定期的な健診と医療受診など医療機関と連携しながら保健指導の中で重症化予防をしていくことが必要であると考えています。

医療費分析では、糖尿病、精神、筋・骨格が同規模、国、県に比較して高いです。

また、健診有無別一人当たりの点数の健診対象者一人当たりでは、生活習慣病対象者一人当たりの健診受診者の医療費が同規模、国、県に比較して低いことから、健診を受けている人は、健康に対する意識も高く、自身の健康維持を心掛けていることが推察できます。

地域の特性

特定健診の状況では、メタボ該当者と予備群が、同規模、国、県に比べて高いのが特徴です。これは、高齢者で長い間、10時と3時のおやつをとる習慣が残っているなど、炭水化物の摂りすぎや甘いものを摂りすぎる習慣があるため、特定保健指導以外の対象者の指導も重要となると考えています。また、BMIより腹囲が高いのは、第1次産業で働く人が多く、からだを動かしてはいませんが偏った動かし方になっていることも考えられます。

血糖、血圧、脂質の3つの重なりが血管を痛めるリスクとなります。津奈木町では、血圧のみ、血圧・脂質は同規模、国、県に比べて高くなっていますが、3つの重なりは同規模、国、県に比較して低くなっています。

最後に、既往歴で、心臓病の割合が同規模、国、県に比較するとかなり高くなっており、脳血管疾患、虚血性心疾患の両方が多いことから、心房細動が原因となっていると推測されます。心房細動による脳梗塞は重症化しやすく、高齢者に多く飲酒量に関係しています。生活習慣の状況を見ると飲酒する人が多く、特に3合以上飲酒する人が同規模、国に比較すると2.5倍になっている状況があります。

特定健康診査実施率向上に特に効果があった取組

特に効果があった取組は、特定健康診査受診料の自己負担額の無料化、特定健康診査の土日祝日実施、特定健康診査とがん検診の同時実施、健診未受診者個人への受診勧奨はターゲットを絞って行うことです。

【特定健康診査受診料の自己負担額の無料化】

特定健康診査の自己負担額については、平成26年度から800円だった受診料を無料化し、39歳以下健診も無料化しています。平成25年度には、健診の機会の選択肢を広げ、疾患の早期発見、早期治療等により重症化予防を図り、健康増進につなげていく目的で、40歳から70歳の5歳間隔の節目で人間ドックも無料化する事業を5年間の事業でスタートさせています。特定健康診査の無料化にあたっては、水俣病の発生地域のため、その被害対策から医療費の無料化が定着しており、病院の検査から特定健康診査へのスライドをスムーズにするために実施いたしました。人間ドックの無料化については、基金残高が多くなっているため、医療費が高い状況への保健事業として還元するために実施しています。

【特定健康診査の土日祝日実施】

特定健康診査の土日祝日実施については、特定健康診査と別日程で実施するよりも、以前より土日祝日を含むように設定し、平成27年度は11月3日(祝)と11月8日(日)の2回を設定いたしました。

【特定健康診査とがん検診の同時実施】

がん検診との同時実施においては、数時間でがん検診まで受診でき、効率がよく、財政負担も少なくて済むため、肺、胃、大腸、子宮頸、乳がん、前立腺がん、腹部超音波、肝炎ウイルス検査を個人が選択して同時実施できるようにし、後期高齢者への健診も同様としています。

【健診未受診者個人への受診勧奨、ターゲットを絞った受診勧奨】

平成25年度より国の特別調整交付金の保健事業を実施する中で、保健師等(嘱託員)を雇用し受診勧奨をしています。また、未受診者への受診勧奨はターゲットの絞り方を毎年見直して実施するようにしています。

平成27年度の11月の集団健診前に、前年度の未受診者で、今年度の集団健診または国保人間ドックの未申込者、直近のレセプトデータより3ヶ月間、生活習慣病で医療受診していない方のすべてに該当する方を抽出した結果、80名が該当し、個別に通知を行いました(資料1)。

平成28年2月の追加健診前には、今年度の11月の集団健診で申込み後に、当日未受診の方、過去3年間に特定健診の受診歴があり今年度は未受診、前年度に国保人間ドック受診者で今年度

特定健康診査実施率向上に特に効果があった取組

未受診者のいずれかに該当する方を抽出し、嘱託保健師 1 名を貼り付け、約 123 名に個別通知と電話勧奨し、27 名が受診されました（資料 2）。

人間ドック対象者 261 名全員に、通知と電話勧奨し、電話での受診勧奨では、24 名が申込みをされ、通知には、人間ドックの受診体験談、人間ドックのメリットなどを掲載したチラシを入れました。

特定健康診査実施率の向上に取り組んでみて

受診勧奨について、毎年ターゲットの絞り方を見直し、平成 27 年度は過去の受診歴以外にも、健診未受診でなおかつ生活習慣病の受診が数ヶ月間レセプトデータにない方へ訪問したことで、健康状態の実態把握と共に、健診未受診者の新規開拓にもつながりました。

健診結果説明会の当日に保健指導の初回面接を実施したり、検査値の見方を分かりやすく説明するなど丁寧な情報提供を行うことも実施率の向上に寄与していると考えます。さらに、地域保健推進員など各種団体への研修会等で生活習慣病予防教室や個別訪問時に被保険者のみならず家族への疾病予防の知識の啓発、重症化予防のためのハイリスク者への生活習慣病等の疾病別健康相談など、日頃の保健事業の組み立てがすべて実施率の向上に寄与していると考えています。

無料の国保人間ドックが徐々に住民へ周知され、受診者数が伸びてきたことが一番の要因だと考えております。また、無料化やターゲットを絞った受診勧奨などトータルで徐々に実施率向上につながっていきました。

未受診者等への電話勧奨では、病院受診中で検査を定期的に行なっている方へ特定健診との違いを説明するところが一番困難と思えました。これについては、件数を小分けして班内で手分けして行なうことで負担軽減を図りました。

保健事業の委託状況（特定健康診査以外の委託の有無）

あり	国保人間ドック
なし	PSA 検査

津住第3028号
平成27年9月29日

〒
様

津奈木町長 西川 裕
(公印省略)

特定健診のお知らせ

特定健診では、糖尿病や腎臓病などの自覚症状もなく密かに進行する生活習慣病を、症状がない段階で、早期に発見することを目的とした健診のため、既に病院で生活習慣病等の治療をされている方も健診の対象になります。この度、11月に住民健診を実施しますので、ぜひご自身のために毎年特定健診を受診し、今後の生活習慣病予防にお役立て下さい。町では、総合的にからだを点検する特定健診をお勧めしています。

このご案内は、次のすべてに該当される方にお送りしております。

- ① 平成26年度に特定健診を受診されていない方
- ② 今年度、「集団健診の特定健診」または「国保人間ドック」をお申込されていない方
- ③ 数ヶ月間(注1)、生活習慣病で医療機関を受診されていない方

記

- | | |
|-------------|------------------------------|
| 1. 日程及び会場 | 別紙1のとおり |
| 2. 健診内容 | 別紙2のとおり |
| 3. 特定健診料金 | 無料 (各種がん検診の料金は、別紙3参照) |
| 4. 申し込み締め切り | 平成27年10月13日(火)まで |

※ 特定健診を希望される方は、下記へお電話下さい。申し込まれた方には、問診票を郵送します。

なお、その他がん検診をご希望の方も、下記へお電話下さい。

※ 既に特定健診をお申込された方や、社会保険へ変更になった方に誤って通知が届いた場合はご了承下さい。

※ 特定健診では、血液検査や血圧測定・心電図等の検査等を行います。

注1:レセプト(医療報酬明細書)より、平成27年1月から3月まで生活習慣病で医療機関を受診されていない方

<お問い合わせ先>
津奈木町役場住民課福祉班
集団健診担当
電話：78-3113(116・118)

平成28年1月22日

〒

様

津奈木町長 西川 裕

(公印省略)

特定健診・健康診査（旧基本健診）の追加実施のお知らせ

このご案内は次のいずれかに該当する方にお送りしております。

- ① 今年度、集団健診で「総合健診（ミニ人間ドック）」または「特定健診または健康診査（選ぶ健診）」をお申し込みいただき、受診できなかった方
- ② 平成24年度から平成26年度に集団健診での「総合健診（ミニ人間ドック）」または「特定健診（選ぶ健診）」を受診され、今年度受診されていない方
- ③ 昨年度、国保無料人間ドックの受診者で今年度特定健診を受診されていない方

この度、11月に集団健診を受診できなかった方を対象に下記の日程で追加健診を実施します。

ぜひ、ご自身のために特定健診を受診して、今後の生活習慣病予防にお役立て下さい。

なお、ご都合によりキャンセルのご連絡をいただいた方にも送付していますので、ご了承下さい。

記

- | | |
|-------------|-------------------|
| 1. 日 程 | 平成28年2月21日（日） 午前中 |
| 2. 会 場 | 津奈木町改善センター |
| 3. 個人負担金 | 無 料 |
| 4. 申し込み締め切り | 平成28年2月5日（金） |

※ 希望される方は、下記へお電話下さい。申し込まれた方には、健診1週間前に問診票を郵送します。

※ 40歳以上の方で、レントゲン検診を希望される方も下記へお電話下さい。

（レントゲン検診料金：74歳以下300円、75歳以上100円）

※ 特定健診では、身長、体重の測定や血液検査などを行います。健診では、糖尿病や腎臓病などの自覚症状もなく密かに進行するような病気を早期に発見することができます。自覚症状が現れる前からからだの変化を見つけるのは健診しかありません。既に病院で生活習慣病等の治療をされている方も健診の対象になりますので、総合的にからだを点検するため、特定健診を受診することをお勧めしています。

<お問い合わせ先>

津奈木町役場住民課福祉班

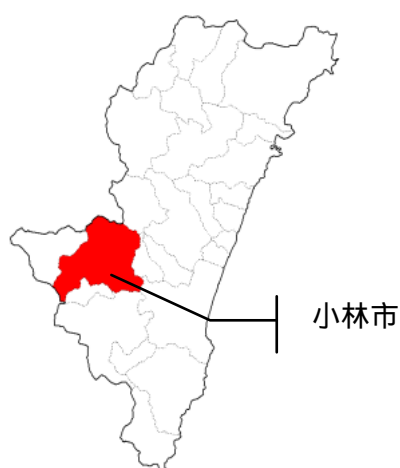
集団健診担当

電話：78-3113（116・118）

(2 9) 宮崎県小林市 (こばやしし)

人口	48,088 人
高齢化率	31.8%
被保険者数	15,811 人
特定健康診査対象者数	10,459 人
平成 23 年度実施率	19.7%
平成 26 年度実施率	31.2%
実施率の伸び	11.5%

* 人口・高齢化率は平成 27 年 1 月 1 日現在
 * 被保険者数は平成 26 年度末。
 * 特定健康診査対象者数、実施率は平成 26 年度速報値。



被保険者年齢分布	職員配置 (平成 27 年度)
	【ほけん課】 事務職 4 名 うち任期付職員 1 名 臨時職員 1 名 保健師 1 名 【健康推進課】健康増進 G 保健師 5 名 管理栄養士 1 名 うち任期付職員 : 保健師 1

地域の特性

小林市は 2006 年 3 月 20 日に旧小林市と須木村が新設合併して新「小林市」が誕生しました。さらに 2010 年 3 月 23 日に野尻町が編入合併しました。「人々の知恵と融和で築くまちづくり」を基本理念とし、「霧島の麓に人・産業・歴史・自然が息吹き、元気あふれる交流都市」を目指し、「愛 CAN 笑顔あふれるまち小林」をキャッチフレーズに「健康こばやし 2 1 (第二次)」を展開、平成 26 年 3 月には「地域医療・健康都市」を宣言しました。

現在の本市の人口はおよそ 4 万 8,000 人、面積は 562.95km² です。南九州の中央部、宮崎県の南西部に位置し、九州縦貫自動車道(宮崎自動車道)により、北部九州方面(熊本・福岡方面)への陸路輸送の利便性や、宮崎及び鹿児島島の空港へのアクセス性が優れています。本市の南西部には霧島連山が、北部には九州山地の山岳が連なり、緑豊かな森林や高原が開け、清らかな溪流美を誇る河川とその流域には優良農地が広がり、ジオサイト(地質遺産)や温泉、湖沼などの個性的な地域資源も多数有しています。

気候は、夏暑く、冬は冷え込む内陸型の温暖多雨地域に属しており、年平均気温は約 16 度、夏と冬の寒暖差が大きく、また、昼夜の気温差が大きいため、霧の発生が多い地域です。年平均降水量は 2211.5 ミリメートル(平成 25 年)を超えます。5 月から 9 月の降水量が年間降水量の約 7 割を占めます。

霧島山の麓に位置する標高 170 メートルから 550 メートルまで広がる農地を最大限に活かしながら、高冷な自然条件に適合した野菜、花きなど立体園芸の振興や、ヒノヒカリを中心とした水稻生産、さらに落葉果樹のぶどう、なし、栗、常緑果樹のゆず、亜熱帯果樹のマンゴーを中心とした果樹農業の振興、畜産における優良家畜の安定供給や飼料作物の生産が盛んです。

地域の特性

産業としては、第1次産業が多く、国保加入率も同規模、国と比較して高い状況です。65歳以上の高齢化率も3割を超える一方で、今後、さらに高齢者の割合が高くなり、医療費のさらなる増大も予想されます。

一人当たりの医療費も、同規模、国と比べて高く、有病率では、高血圧、糖尿病、脂質異常症が高くなっています。またH26年度全医療費割合で、慢性腎不全が1位であり、3位高血圧症、4位糖尿病との結果です。慢性腎不全にかかる医療費は増加傾向にあり、生活習慣病対策が喫緊の課題となっています。平成26年度にデータヘルス計画も策定し、地域の健康課題が明らかになりました。そこで予防可能な確実に予防できる生活習慣病、重症化予防対策を実施するにあたり、その第1歩は特定健診の実施率アップになります。

特定健康診査実施率向上に特に効果があった取組

特に効果があった取組は、かかりつけ医からの受診勧奨、健康推進員からの受診勧奨、特定健康診査受診料の自己負担額の無料化、特定健康診査とがん検診の同時実施、健診未受診者個人への受診勧奨、庁内連携による集団健診時における保健事業の実施です。

【かかりつけ医からの受診勧奨】

毎年、特定健康診査開始にあたり、西諸医師会と近隣1市2町で、健診の実施方法や注意事項等検討しております。会議へは、国保部門の課長、主幹、事務職、保健師が出席しており、その際に、1市2町で協力して各医療機関に受診勧奨をしてもらうよう依頼しています。

平成26年度に、医師会が特定健康診査受診勧奨のポスターを製作し各医療機関に貼りました。平成27年度は、市より内容を指定し作成してもらっています（資料1：受診勧奨用ポスター）

【健康推進員からの受診勧奨】

健康推進課では、平成23年度から健康推進員（平成27年度60名所属）を養成しています。健康推進員は、健康づくりに関心がある方で、区長（自治会）からの推薦等を受け、市長が委嘱しています。任期は2年間です。年5回から6回の研修を実施し、地域住民への受診の声かけ、街頭PR、秋祭りパレード等啓発活動を積極的に行って、市民と行政のパイプ役、地域の中のリーダーとして活躍いただいています。

【特定健康診査受診料の自己負担額の無料化】

平成26年度までは、課税世帯1,000円、非課税世帯無料で実施していましたが、実施率の高い保険者がすべての被保険者を対象に無料化していたため、平成27年度より無料化いたしました。

【特定健康診査とがん検診の同時実施】

平成23年度から希望調査の実施、地域に出向いての集団検診、がん検診とのセット検診、人間ドック、脳ドック受診が特定健診受診になるよう内容を検討したり、健診を受診しやすい体制を整えています。

【健診未受診者個人への受診勧奨】

平成26年は、11月時点で特定健康診査未受診者（6,323人）を対象に受診勧奨ハガキを送付し、979人が受診しました。集団健診予約者で、欠席した者（62人）へはハガキで個別健診の案内を送付し、そのうち18の方が受診されました（資料2：受診勧奨ハガキ）。

さらに、平成26年度より民間会社に委託し、過去6年間特定健康診査未受診者（2,555人）を対象に、保健師、管理栄養士が訪問で受診勧奨を行った結果、356人が受診し、実施率が向上しています。

特定健康診査実施率向上に特に効果があった取組

【庁内連携による特定健診時における保健事業の実施】

小林市では、特定健診、保健指導をほけん課、健康推進課で連携して取り組んでいます。

平成 20 年度より、集団健診時に、自殺率の高い地域性でもあり、受診者へのうつスクリーニングも行いハイリスク者の拾い上げも行っています。ハイリスク者は、医療機関につなげたり、地域包括支援センターにつなげるなど、各関係機関との連携を図っています。このように、健診の機会を利用して、市民の「からだところの健康」づくりを同時に行っています。

特定健康診査受診率の向上に取り組んでみて

実施率の向上に向けてまず感じたのが、特定健診の存在は、住民の声を聞くと「なかなか受診する時間がない」「興味がない」といった自分自身の健康に対して意識が低く、住民にとってそれほど根付いていないように感じました。そのことが実施率の低い要因だと感じました。

その部分を解消するにあたって、特定健診の PR 活動とともに、健診を受ける事の重要性をアピールし、また受診しやすい健診体制づくりに重点を置いた事が実施率アップにつながったと考えます。

今後は、実施率向上へ現在の活動を地道に取り組むことはもちろんですが、健診内容、保健指導等を充実させ、受診した方を大切に、「受けて良かった」と思える人を増やし、健診のリピーターが増えて行くような仕掛けを関係課で連携して作っていきたいです。

保健事業の委託状況（特定健康診査以外での委託の有無）

あり	特定保健指導
なし	

年に1度の

特定健診

受診料無料

受けましたか？

かかりつけ医療機関で受診しましょう！

特定健診は、生活習慣病や、その前兆である「メタボリックシンドローム」を早期に発見・改善するために実施しています。自分では発見できない症状や忍び寄る病気を見逃さないためにも、定期的な受診が必要です。

対象者

…… 40歳～75歳未満の

国民健康保険加入者

（小林・えびの・高原の住民の方）

受診料

 …… **無料**（自己負担金は必要ありません）

実施期間

…… 平成26年6月1日から

平成27年1月31日まで

特定健診（特定健康診査）では次のようなことを検査します。

- ・ 診察、問診
- ・ 身体計測
- ・ 血圧測定
- ・ 血中脂質検査
- ・ 肝機能検査
- ・ 血糖検査
- ・ 尿検査
- ・ 腎機能検査 など

※ 受診の際には、市町より対象者に配付されている

「特定健康診査受診券」 を

医療機関の受付に提出ください。


小林市・えびの市・高原町・西諸医師会

特定健診のご案内



平成26年6月より特定健康診査を実施していますので受診してください。

受診期間 ~ 平成27年1月31日まで

受診に必要なもの

国民健康保険証

特定健康診査受診券(黄色)
(紛失された場合は再発行できます)

健診の自己負担金は無料です。

高血圧症や糖尿病、
脂質異常症などを
調べます



特定健診を受けられる病院

医療機関名	電話番号	医療機関名	電話番号
池井病院	23 - 4151	堀胃腸科外科医院	23 - 3988
池田病院	23 - 3535	前田内科医院	22 - 5802
上田内科	23 - 3377	榎内視鏡内科病院	22 - 2819
内村病院	23 - 2575	宮崎医院	22 - 2841
大森内科胃腸科	23 - 6101	山田内科・循環器科	25 - 0088
沖内科・小児科医院	22 - 4043	押川病院	44 - 1005
勝間田内科	23 - 1551	野尻中央病院	44 - 1141
桑原記念病院	22 - 4138	川井田医院	42 - 2000
小林市立須木診療所	48 - 2025	国民健康保険高原病院	42 - 1022
小林泌尿器科クリニック	25 - 0505	いしざわ循環器内科	33 - 1438
小林市立病院	23 - 4711	えびの共立病院	37 - 1313
近藤内科クリニック	22 - 4367	えびの市立病院	33 - 1023
すわクリニック	22 - 6489	えびの整形外科医院	35 - 1250
整形外科フレンド クリニック	22 - 3132	えびのセントロ クリニック	33 - 5777
せの内科クリニック	23 - 5653	えびの第一クリニック	33 - 0148
園田病院	22 - 2221	京町温泉クリニック	37 - 2233
高崎皮膚科医院	22 - 8521	京町共立病院	37 - 1011
立山整形外科医院	22 - 1717	丹医院	33 - 0107
たなか循環器内科 クリニック	23 - 1115	前田医院	35 - 1151
西小林診療所	27 - 1034	若葉クリニック	33 - 3838
ひろた内科クリニック	25 - 0550	渡辺医院	37 - 1109

事務処理の都合上、受診しているのにも関わらず
通知が届く場合がありますがご了承ください。

(30) 宮崎県高原町(たかはるちょう)

人口	9,304 人
高齢化率	36.9%
被保険者数	3,291 人
特定健康診査対象者数	2,261 人
平成 23 年度実施率	21.0%
平成 26 年度実施率	41.6%
実施率の伸び	20.6%

*人口・高齢化率は平成 27 年 10 月 1 日現在
 *被保険者数は平成 26 年度末。
 *特定健康診査対象者数、実施率は平成 26 年度速報値。



被保険者年齢分布	職員配置
	<p>【町民福祉課】 保険係 国保、後期高齢者 特定健診・保健指導 事務職：5 名 (国保 4 (内 1 名が特定健診等業務を兼任)、後期 1) 保健師：1 名 嘱託看護師：1 名 (主に重複・頻回、訪問指導を担当) 臨時職員：3 名 (後期等業務 1、特定健診等業務 1、レセプト点検等業務 1)</p>

地域の特性

高原町は、宮崎県の西南部、霧島錦江湾国立公園の霧島山を境に鹿児島県と接する静かな山あいに位置しています。面積は 85.38 km²で、およそ 50%を山林原野が占めています。また、霧島山系からの豊富な水が大小河川として町内を流れていることから、水と緑に富んだ自然豊かな町です。町の主幹産業は農業であり、中でも畜産業の割合が高く、農業粗生産額の約 7 割は畜産で占められています。とりわけ肉用牛の生産が盛んで、その肉質の良さは県内外でも高く評価されており、宮崎県の全国和牛能力共進会 2 連覇にも貢献しているといえます。

特定健康診査実施率向上に特に効果があった取組

特に効果のあった取組は、かかりつけ医からの受診勧奨、主産業である農畜産業従事者への受診勧奨、集団健診結果説明会未参加者への受診勧奨、健診未受診者個人への受診勧奨、ターゲットを絞った受診勧奨です。

【かかりつけ医からの受診勧奨】

平成 23 年度に、被保険者が特定健康診査をどこの医療機関で受けているのかを調査分析したところ、町内 2 ヲ所(町立病院と個人病院)の医療機関で受けている被保険者が過半数であること

特定健康診査実施率向上に特に効果があった取組

がわかりました。また、治療中であれば健診を受ける必要がない、町立病院なので検査結果は自然と町で共有できているという誤解があることもわかりました。対象者には、丁寧に特定健康診査の説明を行いながら、実施率向上のためには医療機関の協力が不可欠と考え、各医療機関向けにアンケート調査結果や実施率等の資料を作成し、説明に出向きました（資料1～3）。

平成25年度は、町立病院の担当看護師の勉強会に保健師が参加し、病院受診時に特定健康診査の受診勧奨を依頼するなどの協力を求めました。

【主産業である農畜産事業者への受診勧奨】

実施率の向上を図るため、主産業である農畜産分野の部会、研修、集落営農会合の総会等（年4回から5回）において、農政担当課の協力を得て時間をいただき、特定健康診査の受診勧奨を行っています。この取組がきっかけとなり、営農組合の協力を得ることができ、集団健診の会場を1つ増やすことができています。

【集団健診結果説明会未参加者に対する受診勧奨】

結果説明会では、健康講話などを盛り込みながら開催していますが、未参加者に関しては、顔が見えないと継続受診をしていただくことが困難ではないかという事から、保健師が訪問し、結果を手渡しで返却し、継続受診の意義と健診結果の注意点等について面接を行っています。

【健診未受診者個人への受診勧奨】

平成24年度から平成25年度までの2年間、緊急雇用対策事業を活用して、鹿児島市内の民間会社に委託し、全戸訪問し、希望調査、受診案内、受診券配布及び受診の申込みを行いました。効果として、実施率が平成23年度より16.5%向上しています（資料4、5）。

【ターゲットを絞った受診勧奨】

平成25年度からは、さらに前年度集団健診受診者で当該年度特定健康診査健診未受診者への受診勧奨、児童手当現況届会場での受診勧奨を行っています。

前年度集団健診受診者で当該年度未受診者の受診勧奨は、案内文書と受診票を送付しています。また、集団健診を希望調査票で申し込んだにもかかわらず、当日、欠席した方に対して、電話とハガキにて次回の集団健診会場や個別健診の案内を行っています（資料6～9）。

同じ課内に児童手当を担当する福祉係があるため、課内で話し合い、毎年、児童手当現況届会場において、40歳到達者および現役世代への受診勧奨を実施しています。また、平成27年度からは児童扶養手当現況届会場でも受診勧奨を行っています。

特定健康診査実施率の向上に取り組んでみて

< 担当保健師 >

本来の役割である保健指導は、まだまだ手付かずのことが多く、今後特に力を入れていくべき大きな課題です。そのためにも、自分自身の保健指導能力のスキルアップが急務です。ひとつひとつ少しずつでも前に進めていけたらと考えています。

目の前の町民の方々が、より自分の体に関心を持っていただくことを浸透させていき、そして10年後、自分の体への関心度が高い町になっていることを願っています。そのために日々何らかの策を練りながら、喜んだり悲しんだり笑ったり、時には怒ったりしながらも孤軍奮闘しつつ、微力ながら走って行こうと思っています。

< 事務方 >

これまで保健師を中心として様々な取り組みを行ってきていますが、実施率を押し上げるものとしては「未受診者宅への個別訪問」が有効であると思います。ただし、それなりの費用が必要となり、またその効果は一時的だと思っています。実施率向上についての特効薬的な策はないと思いますし、

特定健康診査実施率の向上に取り組んでみて

やはり保健師と事務方が連携して知恵を出し合いながら、日々の取組みの積み重ねが大事であると考えます。

今後、更に実施率を上げていく手段としては、治療中の未受診者も多数いることから、治療者本人への説明や医療機関との連携が大事になってくるものと思われます。

保健事業の委託状況（特定健診以外での委託の有無）

あり	特定保健指導（宮崎県健康づくり協会）
なし	

ハツ4301 - 623

平成24年3月12日

高原町 特定健診受託医療機関 殿

高原町長 日高 光浩

治療中の方の特定健診受診の勧めについて(お願い)

日頃より、高原町国民健康保険事業にご理解、ご協力いただき感謝申し上げます。平成20年度から始まった特定健診の受診率は、年々減少しており、平成22年度は16.6%と県内26市町村の中でも最下位となっています。

平成23年度は、特定健診自己負担無料化と、未受診者向けアンケート調査を行いました。受診しない理由としては、1.治療中だから 2.心配な時はいつでも病院に行けるから 3.健康だから などの理由が上位でした。つまり、治療中であれば健診を受ける必要が無いという誤解や、健診の本来の目的である自己管理や疾病予防の概念の浸透が低いことがうかがえます。

平成24年度も、自己負担無料化を継続し、特定健診受診方法希望調査を行い、6月から始まる特定健診受診率向上に向けて取り組んでいきます。

つきましては、特定健診は治療中の方も受診できますので、現在治療中の人にもぜひ健診の受診を勧めて頂きますようお願いいたします。その際の費用については、厚生労働省から下記の通り示されていますのでお知らせいたします。

記

厚生労働省 [特定健康診査・特定保健指導に関するQ & A集] より

Q： 特定健診を請け負う個別医療機関からの照会で、病気の通院に合わせて特定健診を受けたい場合の取扱いについて、ご教示願います。

特定健診の対象者の中には、治療中の方も含まれます。基本的には、診療と健診の別日実施を勧めていますが、特に薬剤処方など受診者の利便性を考えますと同日実施にならざるを得ない状況が考えられます。その際に、特定健診と診療で重複する部分がある場合はどのように取り扱ったらよいでしょうか。

A： 特定健診は診療ではないので混合診療とはならず、「診療」と同時に実施することは可能です。

重複する部分の費用の取り扱いについては、契約単価が明確になっている『特定健診』を優先的に実施し、特定健診以外の部分は「診療」として実施してください。

《参考資料》

▶ 高原町国保医療費の現状

高原町の国保被保険者の医療費は高く、1人あたりの医療費は平成20・21年度が県内で5位、平成22年度が1人あたり約35万円で県内第3位の状況となっています。

被保険者数が減少しているのに1人あたりの医療給付費、高額医療費は増額しています。今後も団塊の世代の大量退職とその方々の高齢化により医療給付費等は増額することが予想され、国民健康保険特別会計は、財政的に非常に苦しい状況です。

▶ 医療費の内訳(疾病分析順位)

平成23年5月診療分を大分類別順位毎に見ると、件数及び費用額ともに1位は循環器系疾患です。その内、高血圧性疾患が件数では約80%を、費用額では約40%を占めています。

▶ 生活習慣病治療者の医療機関別集計表

平成23年5月診療分(6月診査分)の診療件数(1216件)を医療機関別にみると、町内医療機関が48.5%を占めています。

▶ なぜ、特定健診の受診率が低いといけないのですか？

国は、特定健診の国保(40～74歳)受診率目標を65%と掲げています。この目標値を、平成24年度までに達成できない市町村に対しては、ペナルティが課せられることとなります。達成できなかった場合、後期高齢者支援金が高原町では最大1700万程度の上乗せになり、1人あたり約5千円の国保税の増税でまかなわなければなりません。

文書取扱 町民福祉課 保険係

電話 42 - 2111 (内線 161・162)

ハツ4301 - 488
平成24年12月7日

高原町 特定健診受託医療機関 御中

高原町長 日高 光浩

治療中の方の特定健診受診の勧めについて(再度お願い)

日頃より、高原町国民健康保険事業にご理解、ご協力いただき感謝申し上げます。

平成24年度は、町民における国民健康保険税の負担軽減策として、医療費の適正化に力を入れ、中でも特定健診受診率向上を重点的に取り組んでおります。

そこで、現時点での1人当たりの医療費(平成24年3月～7月診療分)および特定健診受診率(平成24年11月28日 速報値)をご報告いたします。

また、今年度の医療機関での特定健診受診期間が1月末で終了となり、残すところ1か月余りとなりました。つきましては、特定健診は治療中の人も受診できますので、貴院で治療中の方でかつ特定健診未受診の方々へ、健診受診を勧めて頂きますよう再度お願いいたします。

その際の費用については、厚生労働省から下記の通り示されていますのでお知らせいたします。

記

厚生労働省[特定健康診査・特定保健指導に関するQ&A集]より

Q： 特定健診を請け負う個別医療機関からの照会で、病気の通院に合わせて特定健診を受けたい場合の取扱いについて、ご教示願います。

特定健診の対象者の中には、治療中の方も含まれます。基本的には、診療と健診の別日実施を勧めていますが、特に薬剤処方など受診者の利便性を考えますと同日実施にならざるを得ない状況が考えられます。その際に、**特定健診と診療で重複する部分がある場合はどのように取り扱ったらよいでしょうか。**

A： 特定健診は診療ではないので混合診療とはならず、**「診療」と同時に実施することは可能です。**

重複する部分の費用の取り扱いについては、契約単価が明確になっている**「特定健診」を優先的に実施し、特定健診以外の部分は「診療」として実施してください。**

40 歳以上の高原町国保加入のみなさまへ

お忘れではありませんか？

1年に1回の特定健診

平成24年度

889-4412
高原町大字西薮〇〇〇番地
高原 太郎 様

(高原町)

特定健康診査受診券

平成24年〇〇月〇〇日交付

受診券整理番号	12100000〇〇〇		
氏名	高原 太郎		
性別	男	生年月日	昭和〇〇年〇月〇〇日
有効期限	平成25年1月31日		

特定健診	健診内容		備考
	基本項目	詳細項目 (治療中の者は除く)	窓口の自己負担額 〇 円 医師の判断により受診可 非該当 非該当
		貧血検査	〇 円
		心電図検査	非該当
		眼底検査	非該当

保 険 者	所在地	宮崎県西諸県郡高原町大字西薮 899 番地	公 印 者 略
	電話番号	0984-42-1067	
	保険者番号	00450619	
	名称	高原町	

特定健康診査受診上の注意事項

- 1 特定健康診査を受診するときは、受診券と国民健康保険被保険者証を医療機関の窓口にご提出ください。どちらか一方だけでは受診できません。
- 2 特定健康診査は受診券に記載してある有効期限内に受診してください。
- 3 特定健康診査受診結果は、受診者本人に対して通知するとともに、保険者において保存し、必要に応じ、保険指導に活用しますので、ご了承の上、受診願います。また、人間ドック、脳ドックに関しても同様です。
- 4 健診結果のデータファイルは、決済代行機関で点検されることがある他、国への実施結果報告として匿名化され、部分的に提出されますので、ご了承の上、受診願います。
- 5 国民健康保険被保険者証の資格が無くなったときは、この券を使用しての受診はできません。
- 6 不正にこの券を使用した者は、刑法により詐欺罪としての懲役の処分を受けることがあります。
- 7 この券の記載事項に変更があった場合には、すぐに保険者に差し出して訂正を受けてください。

★★★医療機関の方へ 必ず国民健康保険被保険者証を確認してください。★★★

平成24年度の受付は、平成25年1月31日(木)で終了です。
かかりつけ医で治療中の方も、特定健診の対象です。
診療と同時に実施することは可能ですので、普段の診療時の
1回に、『特定健康診査受診券』を使っていただくことをおすすめします。失くされた場
合は、再発行できます。
自己負担は無料です。
町の簡易人間ドックとの重複受診はできませんのでご注意
ください。

お問い合わせ先：高原町役場 町民福祉課 保険係
42 - 1067

特定健康診査 未受診者実態調査 調査票

平成 年 月 日

1. 性別 男 女
2. 年齢 40～44歳 45～49歳 50～54歳 55～59歳
60～64歳 65～69歳 70～74歳
3. 20年度から特定健康診査がはじまりましたが、ご存知ですか? はい いいえ
4. 23年度は特定健康診査を受診しましたか?

受診した
受診していない

「 」の該当者のみ記載

受診しなかった理由は? (いくつでもお選びください)

特定健診を知らなかった
受診方法が分からない
受診券を紛失した
健康なので受診をする必要はない
治療中または定期的に病院で検査中である

（ 病院名を教えてください。 住所： ）

勤め先で職場健診を受けた

（ 勤務先を教えてください。 電話番号： ）

受けた後、指導をされるのが嫌である

忙しい
健診実施機関（病院）まで遠い
メタボリックシンドロームに着目した健診に疑問を感じている
その他

（

5. 特定健診は毎年受診することとなっておりますが、平成24年度は受診する予定ですか?

受診する予定である。

受診しない

6. あなたはどのようなことがあれば受診しますか? (いくつでもお選びください)

いまのままでいい

健診の検査項目を今より増やす

家族・知人に誘われる

病院の医師などに勧められる

受診したら特典がある（景品等がもらえる）

何をやっても受診しない

その他

[]

7． 集団健診の受診場所・時間で具体的に要望がありましたら教えてください。

[]

8． 特定健康診査以外で医療費を下げるには、どのようなことをしたらいいと思いますか。

[]

“特定健康診査”を受けましょう



Q “特定健康診査”って何？

A **メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）**
の早期発見と予防を目的に行う健診です。

メタボリックシンドロームとは、「内臓脂肪型肥満」があり、「高血圧」「脂質異常」「高血糖」が重複している状態のことです。この状態をそのままにしておくと、動脈硬化が急速に進行し、心臓病や脳卒中になりやすいといわれています。

特定健診項目

問診（既往歴 自覚症状 服薬歴 喫煙習慣など） 測定（身長 体重 腹囲 BMI 血圧）
尿検査（尿糖 尿たんぱく） 血液検査（肝機能（GOT GPT GTP） 血中脂質検査（中性脂肪
HDL コレステロール LDL コレステロール） 血糖検査（空腹時血糖 HbA1c） 腎機能（血清クレアチニン）

詳細な健診 医師が必要とした人のみ行います

貧血検査（赤血球数 血色素 ヘマトクリット） 心電図検査 眼底検査

Q “特定健康診査”って誰が受けるの？

A **40歳～75歳未満のすべての人です。**

40歳～75歳未満の、国民健康保険や被用者保険（健康保険組合や共済組合などの医療保険）の被保険者と被扶養者の全員が対象です。

現在服薬中や治療中で、病院で定期的に検査をしている方も対象となります。



Q 特定健康診査はどうやって受けるの？

受診券の受け取り

本日持参した封筒の中に「特定健康診査受診券」が同封されています。

受診会場を選ぶ

集団会場か医療機関のどちらで受診するか選びます。
集団検診日程表と実施医療機関名簿は「特定健診の案内」に同封されています。

健診を受診する

「特定健康診査受診券」と「保険証」を持参してください。
また、前年度の健診や人間ドックの結果をお持ちの方は、その結果も持参してください。

結果通知

健診結果を実施医療機関よりお渡しします。
健診結果による必要度が高い方には、後日、**特定保健指導**の案内が送られます。

Q 健診費用はいくらかかるの？

A **高原町国保の人は無料です。**（高原町国保が負担します）

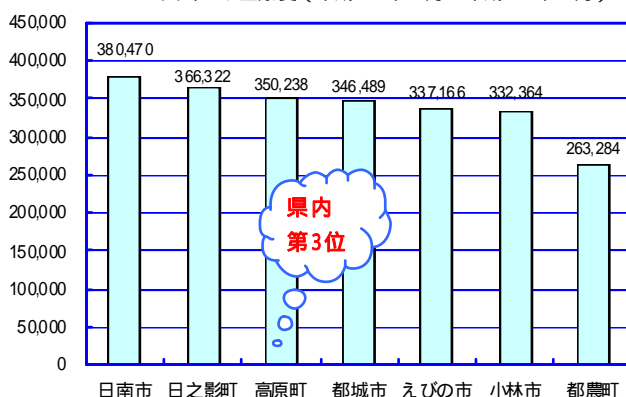
ご存知ですか？ 高原町の国保医療費のこと

平成 22 年 3 月から平成 23 年 2 月までの高原町 1 人あたりの国保医療費は 350,238 円で、日南市、日之影町に次いで県内第 3 位です。

ちなみに、一番低かったのは、都農町の 263,284 円で当町との差は約 87,000 円です。

医療費の増加は、保険税の増加につながります。日頃の健康への取り組み次第で医療費を減らすことができます。

一人当たり医療費（平成 22 年 3 月～平成 23 年 2 月）



医療費を節約するために

かかりつけ医を持ちましょう

「なにはともあれ大病院」は不経済

紹介状を持たずにベッド数 200 床以上の大病院で受診すると、初診時に特別料金が加算される場合があります

患者さんの多い大病院では、数時間待たされることもあり、それに薬の受け取りや、会計を待つ時間を合わせれば 1 日です。休養が大切な軽い風邪などの病気なら、悪化させる危険もあります。近所の開業医など、すぐに受診できる場所に持参しましょう



重複受診（ $\frac{1}{\text{一つの病気で複数の医療機関}} \rightarrow \text{にかかること}$ ）を避けましょう

重複受診は不経済

病院を変えれば、また初診から始まり、同じような検査を繰り返すだけで、医療費のムダ遣いになります。注射や投薬、検査、処置などの繰り返しは、からだにも負担がかかり、かえって健康を害することにもなりかねません。

時間外受診を避けましょう

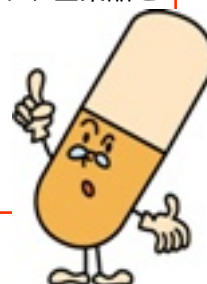
時間外受診は不経済

一般に受診の際に支払う初診料や再診料のほかに、時間外（午後 10 時まで）、休日、深夜（午後 10 時～午前 6 時まで）の受診については割増料金が加算されます。

加算される料金は時間外が約 1.3 倍、休日が約 1.9 倍、深夜が約 2.8 倍という順に高くなっていきます。

ジェネリック医薬品を利用しましょう

ジェネリック医薬品とは、先発医薬品の特許期間終了後に、有効成分、用法、用量、効能及び効果が同じ医薬品として新たに申請され、厚生労働省が先発医薬品と同等と認めて製造・販売される安価な医薬品のことです。ジェネリック医薬品を希望する場合は、配布している『ジェネリック医薬品希望カード』を利用し、医師、薬剤師にご相談ください。



特定健診のご案内

集団健診を希望される方

健診日	対象者	健診会場
7月30日(月)		
7月31日(火)	国民健康保険加入者で40歳～74歳までの方 (75歳の誕生日の前日まで受診可能)	ほほえみ館
8月16日(木)		
10月28日(日)		

受診ご希望の方は、町民福祉課 保険係までご連絡下さい。 TEL 42-1067

個別健診を希望される方

医療機関	電話番号	医療機関	電話番号
川井田医院	42-2000	国民健康保険高原病院	42-1022
池井病院	23-4151	池田病院	23-3535
西小林診療所	27-1034	小林泌尿器科クリニック	25-0505
上田内科	23-3377	内村病院	23-2575
せの内科クリニック	23-5653	フレンドクリニック	22-3132
大森内科胃腸科	23-6101	沖内科・小児科医院	22-4043
勝間田内科	23-1551	桑原記念病院	22-4138
近藤内科クリニック	22-4367	すわクリニック	22-6489
園田病院	22-2221	高崎皮膚科医院	22-8521
立山整形外科医院	22-1717	ひろた内科クリニック	25-0550
堀胃腸科外科医院	23-3988	前田内科医院	22-5802
整形外科前原病院	23-1711	榎内科病院	22-2819
宮崎医院	22-2841	山田内科・循環器科	25-0088
小林市立病院	23-4711	小林市立須木診療所	48-2025
押川病院	44-1005	野尻中央病院	44-1141
京町温泉クリニック	37-2233	えびの共立病院	37-1313
いしざわ循環器内科	33-1438	えびの整形外科医院	35-1250
京町共立病院	37-1011	若葉クリニック	33-3838
えびの第一クリニック	33-0148	丹医院	33-0107
えびのセントロクリニック	33-5777	平塚医院	33-0045
えびの市立病院	33-1023		

上記の医療機関で **平成24年6月1日～平成25年1月31日**まで受診できます。
申込方法は各医療機関に直接お尋ねください。受診券を必ずお持ちください

ご無沙汰しております。その後、お変わりありませんか？

今年度は上広原での集団健診を実施いたします。そこで、まだお申し込みがなかったのですが、受診票を作成しお送りします。

もし、もう特定(長寿)健診を病院で受けたよとか、人間ドックを申し込んだよという場合は破棄して下さってかまいません。

又、この受診票は、下記集団健診会場のいずれでも使えますので、ご自分の都合のつくところで来て下さっても大丈夫です。

健診は、毎年の積み重ねが大切ですから、ぜひこの機会をご利用ください。 きよなが

平成 27 年度 集団健診日程 (8:00 から受付開始)

開催日	開催場所
9月 3日(木)	上広原地区多目的活動施設
9月 14日(月)	鹿児島山農業構造改善センター
10月 2日(金)	下広原構造改善センター
10月 25日(日)	ほほえみ館(秋まつり開催日)

特定健診受診方法希望調査表【返信用】

平成26年度 あなたは、どの方法で“特定健診”を受けますか？

下記 1～4 のいずれかを選び(番号に をつけて)、ご返送ください。

後日、選択された方法に沿って、ご案内いたします。

1. 町の簡易人間ドック

予約・日程調整が必要になりますので、ほほえみ館へ直接 お申し込みください。

高原町の簡易人間ドックを受けられる方は、特定健診を受診する必要はありません。

申込窓口：ほほえみ館 健康づくり推進係 42 - 4820

2. ほほえみ館や地区公民館等で行われる集団健診

平成26年度は下表のとおり実施します。

希望欄に を付け、連絡先電話番号をご記入ください。

募集定員になりしだい締切り、後日ハガキにて案内通知いたします。

自己負担金は無料です。

開催日	開催場所	希望欄	連絡先(電話番号)
7月 7日(月)	ほほえみ館		なるべく連絡のつく電話番号 をご記入下さい
8月 5日(火)	ほほえみ館		
8月 20日(水)	南狭野活性化センター		
9月 10日(水)	鹿児島山農業構造改善センター		
10月 26日(日)	ほほえみ館(秋まつり開催日)		

3. 医療機関(かかりつけ医等)で受ける個別健診

受ける予定の医療機関はどちらですか？ 病院名をご記入ください【 _____ 】

受診期間：平成26年6月1日(日)～平成27年1月31日(土)

受診場所：指定医療機関(裏面をご参照ください。)

自己負担金：無 料

指定医療機関で受診希望の方へは、受診券(無料券)を5月末迄に、保険係より 郵送します。

かかりつけ医が指定医療機関以外の方へは、場合によっては、健診の費用負担助成ができませんので、ご案内のハガキを送付します。

4. 勤務先等で受ける職場健診

平成27年1月頃に 保険係より 返信用封筒をお送りしますので、健診データの提出にご協力ください。

【資料8：受診勸奨ハガキ】

集団健診を欠席された方へご案内

残りの開催日は以下の通りです。都合のつく日にぜひ来てくださーいね。お待ちしております。



平成26年度 集団健診日程表

健診日	場所
9月10日(水)	鹿児島農業構造改善センター
10月26日(日)	ほほえみ館(秋まつり)

受付時間： 9:00～10:00

当日持参するもの：受診票・採尿容器

費用：無料

受診票・採尿容器等は、前回お送りしたものを**お使いください。**

又、紛失等された方は、ご連絡ください。

当日は受付時間厳守でお願いします。

【資料9：受診勸奨ハガキ】

集団健診を欠席された方へ

平成26年度の集団健診は、秋まつり健康フェスタ会場での実施をもちまして終了しました。

医療機関での特定健診受診は、1月末で終了となります。今年度の健診がまだの方は、『被保険者証』と『**特定健康診査受診券**』（自己負担無料券）を持って、西諸管内の医療機関へお急ぎください。

受診券再発行希望の方は、保険係までご連絡ください。

町の簡易人間ドックとの重複受診はできませんのでご注意ください。

尚、手続きの都合上、行き違いになった場合はご了承ください。



1年に1回の健診を、自分の健康管理にお役立てくださいね